

2013年3月期第1四半期連結決算報告(2012年4月1日~6月30日)

- 市場環境は当初見通しより大幅に悪化
- 直近の事業状況を反映し、業績見通しを下方修正
- リストラクチャリングおよび生産性改善の施策継続・加速
- キャッシュフロー改善への取り組みは、計画通り進捗
- 短期的な戦略としては、収益性の改善に注力。付加価値製品は、長期的な成長計画の鍵

**市場環境は当初見通しより大幅に悪化**

- グループ売上は1,312億円(前年同期1,452億円)。前年比10%減収だが、為替変動を除くと3%減収
- 無形資産償却と個別開示項目前営業利益は6億円(前年同期56億円)。特に欧州の厳しい市場環境を反映
- 建築用ガラス事業は、売上523億円(前年同期637億円)、営業損失33億円(前年同期営業利益42億円)
- 自動車用ガラス事業は、売上632億円(前年同期662億円)、営業利益26億円(前年同期営業利益20億円)
- 高機能ガラス事業は、売上151億円(前年同期149億円)、営業利益15億円(前年同期営業利益16億円)
- 個別開示項目費用は、74億円。リストラクチャリング費用(47億円)と有形固定資産の減損損失(33億円)を含む

**直近の事業状況を反映し、業績見通しを下方修正**

- 主要市場、特に欧州で、市場環境が大幅に悪化
- 建築用ガラスおよび自動車用ガラスの数量は予想を下回る
- 南米市場は減速
- ソーラー市場は依然低調
- 持分法適用会社も厳しい建築用ガラス市場の影響を受ける
- 当年度中は市場環境の大幅な改善は見込めず
- リストラクチャリングによるコスト削減により、年間を通じて収益性改善

**リストラクチャリングおよび生産性改善の施策継続・加速**

- リストラクチャリングによる収益性改善目標は、当初より50億円アップし250億円/年
- リストラクチャリング費用は、当初通り250億円。現金支出を伴わない費用として90億円の有形資産減損を見込む
- 生産能力の削減、間接費用削減、生産性改善をリストラクチャリングの主要項目として注力
- 生産能力の削減ー建築用ガラス生産能力削減を発表。欧州では30%、北米では25%を削減
- 間接費用削減ー2014年3月末までに3,500人の人員削減を計画。2012年6月末までに内1,350人をすでに削減
- 生産性改善ー製造における品質不良によるロスおよびコスト削減や、主要原燃材料の使用の節減を重視

**キャッシュフロー改善への取り組みは、計画通り進捗**

- 運転資本の管理強化
- この2年間は、設備投資を有形固定資産償却費以下とする
- 必要に応じてノンコア資産の売却の可能性を追求

**短期的な戦略としては、収益性の改善に注力。付加価値製品は、長期的な成長計画の鍵**

- 明確な実行計画とこれによる財務状況および業績の改善
- 固定費圧縮により将来市場変動にも柔軟に対応できる強靱な企業体質を構築
- 長期的な成長機会が明確であり、付加価値製品分野に重点を置く

## 連結損益計算書



(億円)	13年3月期 4月-6月期	12年3月期 4月-6月期	前年比
売上高	1,312	1,452	-10%**
無形資産償却と個別開示項目前営業利益 償却費*	6 (17)	56 (20)	
個別開示項目前営業利益	(11)	36	
個別開示項目 営業利益	(74) (85)	- 36	
金融費用(純額)	(31)	(37)	
持分法による投資利益	(1)	20	
税引前利益(損失)	(117)	19	
当期利益(損失)	(106)	19	
親会社の所有者に帰属する当期利益(損失)	(107)	16	
EBITDA	79	138	-43%

\*ピルキントン買収に伴って発生した無形資産の償却のみを考慮

\*\*為替変動を除くと-3%

業績は大幅に悪化した市場環境を反映

2012年8月2日 | 2013年3月期第1四半期決算報告